

部会のテーマ及び進め方について

今後の部会で検討いただくテーマ及び進め方について、幹事会からの提案として、次のとおり整理させていただきました。これをたたき台として、ご意見等をいただきながら、ご検討をお願いいたします。

1. テーマ

これまで開催されていない「地域振興」検討部会に係るテーマとして挙げられている、「アクセス道路ネットワーク化」や「遊水地内道路案内（サイン）」とする。

また、8月22日開催の第4回保全・利活用協議会において、委員より提案のあった「よしず利用の促進」についても検討し、併せてラムサール条約登録5周年に向けた取り組みとして「ロゴマークの審査方針（案）及び使用要綱（案）」や「登録記念シンポジウムの開催要項（案）」についても当面の検討課題とする。

2. 第1回合同部会①の議論の進め方

(1) はじめに、遊水地内道路及び案内サイン等の現状について、ネットワーク化を図る上での問題点や課題を個人作業により付箋紙に書き込む。

(例：場所の説明が難しい・わかりにくい、自転車の高速走行、路上駐車など)

(2) グループ内で個人毎に挙げた問題点や課題を発表しながら、下記の留意事項を参考に①（遊水地外か遊水地内かの別）及び②（移動手段別）に分類する。

(3) 模造紙に分類した結果を整理し、その対応策として考えられることがあれば、記載する

(4) グループ毎に整理した結果を発表し、全体での意見交換を行う。

(5) 次回の第2回合同部会①では、具体的な対応策についての検討を行う。

(分類する際の留意事項)

① 遊水地周辺からのアクセス道路（遊水地外）と遊水地内道路とを分けて整理する。

(例) 主要な幹線道路上の遊水地案内表示が少ない（⇒遊水地外）

(例) 遊水地内での位置（現在地）把握のための表示が足りない（⇒遊水地内）

② 移動手段別（自動車、自転車、歩行者、バス・電車）に分けて整理する。

3. 参考資料

・H27.2.25 第3回賢明な利活用検討部会：資料1より（資料4）

・遊水地内道路及び渡良瀬遊水地周辺サイクリングロード等の状況（資料5）

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会 第3回合同部会 分類結果一覧
 (平成26年9月24日開催) ※抜粋

分類結果(賢明な利活用検討部会)		
利用	全体計画	安全対策
ワイズユース	全体的な計画の策定	安全対策
第2調節池湿地再生化の利用	協議会の主な目的を整理してからスタートして欲しい。 (例)遊水地の利用者を増加したい	地域連携による安全対策
自然環境を生かした利用		関係者協力安全対策
年度における各自治体、民間団体のスケジュールを統一できる事務局(アクリさん)がまとめて公開してほしい		自転車、歩行者の区割の徹底
		緊急時の連絡先
連携・協力	ルール	
湿地保全への各自治体の協力体制	利用ルール(マナー、モラル)	
4県4市2町の緊密な連携(一体化)	環境に配慮した利用ルール	
関係者の協力体制	遊水地利用のルール作り	
自治体の連携強化(各市町村)	レクリエーション等の利用と野生生物保護に関するルールづくり	
渡良瀬遊水地利用、活性化等の組織の統一化が望ましい。	自転車・各種スポーツの利用に関する基本的なルールづくり	
渡良瀬遊水地の将来像を全体で話し合い共通認識をもつ	鳥類、植物、昆虫等の観察マナーの徹底	

分類結果(地域振興部会)		
観光	産業	アクセス・道路
エコツーリズム	ヨシ利用	アクセス道路ネットワーク化
観光	ヨシの新たな利用	遊水地利用する為の道路作る
		野渡橋の通行が出来る事
		小山方面より遊水地内に入る道路の拡張、補修等
		アクセス道路の一部に渡舟を導入
		回遊性の向上(サイクリングロードの連携等)
		遊水地内道路案内(サイン)
		道案内、看板類の整備

グループ毎のまとめ方のイメージ

A グループ	自動車	自転車	歩行者	電車・バス
遊水地の外				
遊水地の中		模造紙		
対応策				